



ジョイまちゼミナール通信

●ジョイまちゼミナール 第3・4回を開催しました！

今回の通信は、第3・4回のようすをまとめてお伝えする合併号です。

いよいよ、アイデア・課題出し、その絞り込み、重要なプロジェクトの決定と仮テーマの「プロジェクト立案」の佳境に入り、意見交換の手法も高度な内容になってきました。

第3回では「KJ法」、第4回では、加えて「ペイオフマトリクス法」「シールアンケート法」を活かしたグループワークを行いました。

外は雪まじりの天候にもかかわらず、暖房が不要なほど熱の入った意見交換が行われました。そのようすをお伝えします！

ジョイまちゼミナールの目的

- 「協働型まちづくり」を進めるために、必要な知識・技能等を学ぶこと

ジョイまちゼミナールの進め方

- 仮のまちづくり活動テーマ：「**円山動物園をもっと身近なものにするためには？**」を設定
- そのための「**具体的な取り組み**」を**受講者＝市民と市職員の協働で立案**
- 「協働型まちづくり」を進めるために必要な知識・技能について、**立案の過程を実践（体験）しながら学ぶ**

第3回（前々回）の開催概要

- **テーマ**：課題・アイデアの抽出と目標設定
- **開催日**：平成 24 年 11 月 11 日（日）
- **開催時間**：10:00～13:00
- **会場**：TKP 札幌ビジネスセンター 5 階 5B

第4回（前回）の開催概要

- **テーマ**：重点プロジェクトの選定とアイデア・課題の抽出
- **開催日**：平成 24 年 11 月 18 日（日）
- **開催時間**：10:00～13:00
- **会場**：TKP 札幌ビジネスセンター 5 階 5B

第3回（前々回）のプログラム

導入

1. 本日のプログラム説明
2. 前回の振り返り
3. ミニ講義「グループワーク・KJ法のポイント」

4. 円山動物園の課題・「身近なもの」にするためのアイデアを考えよう！

ワークショップ全体の目的：

「円山動物園をもっと身近なものにする」ための取り組みの立案

今回の目的：

円山動物園の良い点・課題・取り組みのアイデア出し
→ 取り組みの目標・テーマの検討

ワークショップの実践

- (1) プログラムの説明
- (2) 前回の振り返り
- (3) グループワークの説明
- (4) グループワーク
 - ① 円山動物園の良い点・課題・取り組みのアイデア出し
 - ② 意見の整理と、取り組みの目標・テーマの検討
- (5) グループ発表

振り返り

5. 本日の振り返り

第4回（前回）のプログラム

導入

1. 本日のプログラム説明
2. 前回の振り返り
3. ミニ講義「ペイオフマトリクス法」

4. 「円山動物園・身近化プロジェクト」の検討！

ワークショップ全体の目的：

「円山動物園をもっと身近なものにする」ための取り組みの立案

今回の目的：

検討を進める重点プロジェクトを決める
重点プロジェクトに関するアイデア・考えられる課題を抽出する

ワークショップの実践

- (1) プログラムの説明
- (2) 前回の振り返り
- (3) グループワークの説明
- (4) グループワーク
 - ① マトリクス法によるプロジェクトアイデアの整理（全体ワーク）プロジェクトアイデアへの投票
 - ② 重点プロジェクトの決定と、プロジェクトに関するアイデア・課題の抽出
- (5) グループ発表

振り返り

5. 本日の振り返り

当日のようすは、本紙中面「開催レポート」と

「ジョイまちゼミナール情報発信ブログ」<http://www.northerncross.co.jp/joymachi/> でご覧ください！



第3回（前々回）の開催レポート



導入 本日のプログラム説明～ミニ講義「グループワーク・KJ法のポイント」

- 本日のプログラム、および再々度「趣旨・目的」を改めて確認・共有し、「ミニ講義」を実施しました。
- 「ミニ講義」ではワークショップの基本ともいえる「KJ法」について学び、「混沌をして語らしめる」・多様な意見から「気づき」「方向性」を見出していくことを学びました。



ワークショップの実践

1. 円山動物園の良い点・課題・取り組みのアイデア出し
2. 意見の整理と、取り組みの目標・テーマの検討

1 KJ法はたくさん書かれた意見カード（付箋）を分類・整理することで、気づき・方向性を見出します。その進め方や、付箋の使い方などについて学びました。



2 グループ内でファシリテーターを決定。「良い点（黄色付箋）」「課題（ピンク付箋）」書き出しタイムをとり、一人ずつ発表しながら付箋を模造紙に貼り付け。



3 次のお題へ。ファシリテーターを交代し、出された意見を元に「取り組みアイデア（水色付箋）」を書き出し、発表、貼り付けます（糖分も補給中）。



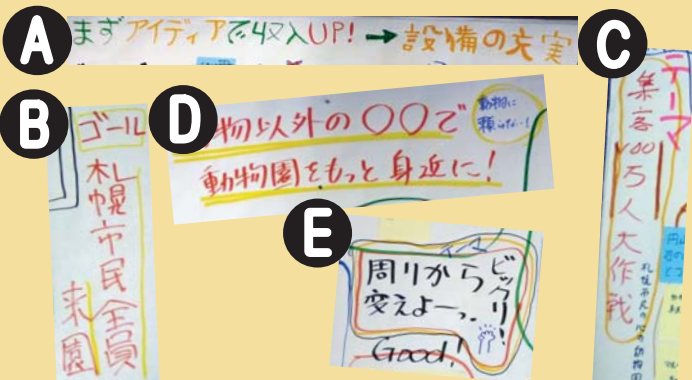
4 「意見の整理・取り組みの目標・テーマの検討」を行い、目指すべき方向性を見出しました。



5 グループ発表を行い、それぞれの「目標・テーマ」の方向性を共有しました。その後、KJ法によるワークショップ運営の振り返りを行いました。



各チームの「目標・テーマ」です！



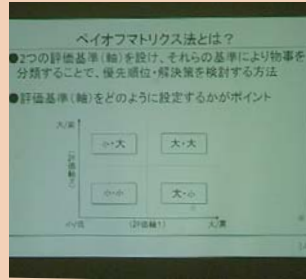


第4回（前回）の開催レポート



導入 本日のプログラム説明～ミニ講義「ペイオフマトリクス法」

- 第4回の「ミニ講義」は「ペイオフマトリクス法」について学びました。
- 「ペイオフマトリクス」とは、2つの「評価基準（軸）」を設け（ペイオフ）、その基準により物事を分類します。
- 物事の優先順位や解決策を検討する方法としてすぐれており、評価基準の設定や分類がポイントになります。



ワークショップの実践

1. マトリクス法によるプロジェクトアイデアの整理と投票
2. 重点プロジェクトの決定と、そのアイデア・課題の抽出



前々回・第3回の模造紙の一例です



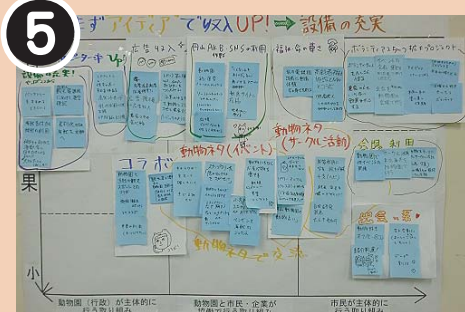
マトリクスの表に前回の「アイデア」を移動



「アイデア」をさらに加えていきます



意見の島づくり&タイトルつけを行います



各グループのマトリクスが完成!の一例



自分のテーブル以外のアイデアに投票を実施



結果を参考にグループ重点プロジェクトを決定



さらにアイデア・課題を加えていきます



重点プロジェクトアイデア・課題完成!の一例



各グループ発表を行い、プロジェクトを共有



最後にまとめ、手法の振り返りで終了!

★総合講師より★

マトリクス手法によるワークショップは、なかなか難しいものです。皆さん楽しげに検討している姿に感服しました。



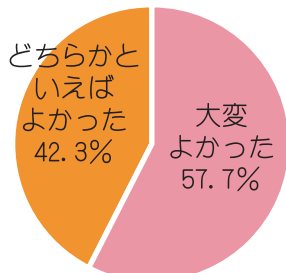


Q1 研修の評価とその理由

★大変よかった★

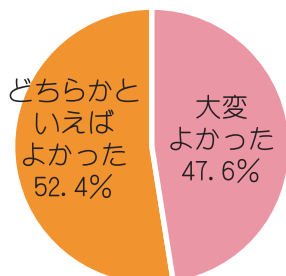
★どちらかといえばよかった★

【第3回】



※回答件数:26件

【第4回】



※回答件数:21件

- ・KJ法実践によるワークショップで、手法のイメージがはっきりした。
- ・ワークショップの時間が長く、参加・運営、両方の立場のことがわかった。
- ・充実した意見交換ができ、今後も楽しみ。

など

- ・マトリクスを体験できてよかった。
- ・各グループのテーマが異なっており、勉強になった。
- ・TF*が難しかった。もう少しサポートがあるとありがたい。
- ・アイデアがテーマに絞られ、プロジェクト立案に向かっていることがわかった。

など

- ・これまでの研修が繋がっていくのがよかった。
- ・アイスブレイク・現場見学と経験の共有によるのか、意見交換がもりあがった。
- ・後半アイデアが出ず、だらついたときもあった。
- ・時間が短かった。

など

- ・グループ意識が高まったためか、活発な意見が出るようになった。
- ・TF*は難しく、自分が他人の話を聞いていないことに気付いた。
- ・意見交換が止まってしまうときがあった。次回気をつける。

など

※TF*とは「テーブルファシリテーター」をさしています。ワークショップを「手助け」「促進」する人のことです。

Q4・5 第4回（前回）：改善すべきと思う点

★研修部分について★

- ・素晴らしかった！、問題なし・・・など
- ・投票の前にはやはり発表のあるほうがよいと思う。
- ・TFにある程度の指示があったのがよかった。
- ・ペーパーマトリクスを知らなかったので勉強になった。

など

★ワークショップ（実践）部分について★

- ・意見がたくさん出たので / ワークショップとしては一つのタームの時間が短い。
- ・とはいえ、研修全体としてこれ以上長いのも困る。

Q6 第4回：聞きたいこと、教えてほしいこと

- ・付箋の島づくりや、まとめ・テーマ設定が難しい時には、必ずしも設定しなくてよいのか。
- ・マトリクスでワークショップを実施するときに、通常どのくらいの時間が必要か。
- ・目標とプロジェクトの内容が離れてきたら、どう修正すべきか。
- ・実際にワークショップを組み立てるとき、回数の設定やスケジュールはどのように、何を基準に決めたらよいのか。
- ・問題解決手法として「発散法・収束法」があると思うが、現場ではどのように使い分けをしているか。

など



次回・最終回のご案内 ～第5回「事業企画 & 事業提案」～



●主な内容：

これまでの意見を集約してきた「重点プロジェクト」の実行に向けて、具体的にすべきこと、役割分担など**事業企画の方法**について学びます。

【開催日時】平成24年12月2日（日）10:00～13:00

【開催会場】TKP 札幌ビジネスセンター・カンファレンスルーム 5B
（※同じ会場です。/ 中央区北三条西3丁目1-44）

⚠️ ご注意とお願い

- ★欠席・遅刻については、必ずご連絡ください。
- ★引き続き公共交通機関の利用にご協力をお願いいたします。

ゼミ最終回を迎えます。これまでの資料などを振り返り、聞いてみたいこと、教えてほしいことなどありましたらご準備ください！



ご連絡
お問合せ

●事務局：株式会社ノーザンクロス 担当：島崎、俵谷
TEL：011-232-3661 / FAX：011-232-4918 mail：shimazaki@northerncross.co.jp（島崎）

★当日連絡先：090-1383-2879★

●主催者：札幌市総務局職員部 自治研修センター 担当：干場 TEL：011-866-3666